

～あなたはどんな道を築いていますか？～

私たちの周りにある人が作ったものは、何か目的があって作られています。例えば、ニューオリンズにある世界一長い橋、フランスにある世界一高い所にかけられた橋、日本でも高速道路などがあります。なぜ作られたのでしょうか。これらにも作られた理由があります。それは生活向上、利便性、地球環境のためなどの理由があります。ローマにおいては道が放射状に作られています。それにも理由があり、バックスロマーナといわれ、「ローマの平和のため」なのです。どこから敵が攻められたとしても、反対側に逃げれるからなのです。聖書の中にも大事な道があります。それは「ピアドロローサ」と呼ばれ、イエスキリストが十字架にかかるために十字架を背負って通られた道です。それは悲しみの道と呼ばれています。それは私たちの罪を背負い、裏切られた悲しみを背負いながら自分がかげられる十字架を担ぎ歩んだ道でした。私たちは生きています。しかし何のために生きていますか、理解しているでしょうか。そしてどんな道を歩んでいますか。どのような道を、何のために歩いているのかという理由を理解していかなければなりません。すべては道行なのです。その道は誰かが通ることのできる道になっているでしょうか。それを前提として今回はバプテスマのヨハネについて見ていきます。ヨハネという名は「神は憐れみ深い」という意味があります。ヨハネが生まれてきた理由は「主の通られる道を整える」ことにありました。その当時、選民イスラエルの信仰は墮落していました。イエスが通るためにはまず、律法（今で言うと旧約聖書）を思い出させる必要がありました。バプテスマのヨハネはエリアの霊によってその働きを全うすると言われていました。エリヤとは「主こそ神である」という意味があります。具体的には祈りによって、偶像崇拝している偽預言者との戦いや、日照りなどを通して神が存在している事を表し続けた人でした。祈りにより神を表した人でした。ヨハネの誕生も妊と呼ばれていた夫婦の祈りを聞かれて生まれました。ヨハネはエリヤと同じ霊によって神が憐れみ深い事を教え、救い主であるイエスが通られる道の準備をする事が目的でした。（ヨハネ1：1～）来週はクリスマスになります。イエスが誕生された事を祝いします。その前の4週間をアドベントとよびます。今はその時です。私たちはこのアドベントの時期をどのように過ごしたらよいのでしょうか。バプテスマのヨハネのように、イエスが通られる道を私達は整えていますか。神はビジョンや賜物を与えてくれています。その用いた道を整えるのは私たち自身です。その道は誰のために作り、誰が通っているのでしょうか。私たちの作る道は誰も通れない道を作ってはいけません。神が憐れみ深い事を教え、罪を悔い改めている道を教えたヨハネのように、私たちも神の憐れみ深さを知っている者として、自分のビジョンや賜物を用いた道を築いていきましょう。そして神への感謝を持って歩いていけるようにしましょう。感謝とは私たちの作った道を歩いている人が、喜んでいる姿を通して得られるものです。私たちが「〇〇します。」と約束した事を思い出して下さい。それは私たちに任された道です。「その道だけは守る」すなわち「その道を築き、整える」と私たち自身が決意し、イエスと共に成し遂げていきましょう。その中で実を結び、感謝を携えていきましょう。「父たちの心を子に向けさせ」とあるように、父と子が愛せない関係になってしまっている時代です。ですから、父である神と、子供が出会えるような道にしていましょう。敵である悪魔は、他の人が歩けないような道にするためにつまづきの石を入れてきます。ですから、自分の道を整えていきましょう。①**あなただけの道ではない**。私たちの道は私たちだけのものではありません。この後に通る人々が多くいます。その人のためです。家族はその道を築いていくパートナーです。私たちが守ると約束しているものを思い出したり、新たに決意をしていましょう。②**色ある御言葉の道**。自分の色を出していきましょう。神はタラントの喩えでもどのように稼いだのかについては言及していません。どのように用いるのかは私たちに任されています。自分たちのオリジナルの道を作る必要があります。その道が束なり、1つの教会となっていくのです。しかし大事な部分があります。それは御言葉です。（イザヤ40：1～8）主の言葉は永遠に立つのです。自分よがりの道では人は通れません。御言葉が土台となっている道を作らないといけません。③**教える道**。私たちは自分の道でなく、御言葉に立って歩いているのであれば、私たちは先に通った者として教える事ができます。証し者として示せる。バプテスマのヨハネが通った道のように正しい事をしていく時、人に対して教える事ができます。主の憐れみを知っているものとして、間違った道を示すのではなく、正しい道を示していきましょう。私たちはイエスキリストが命がけて買い取られた道です。それを整えて、多くの人が入れる道としていきましょう。